

総務企画委員会 県内所管事務調査の概要

【令和3年5月10日（月）】

◆調査箇所：里山保全竹活用百人会（竹田市大字植木）

＜概要＞

里山保全竹活用百人会では、これまで20年間にわたり、竹田市のイベント「竹楽」を通じて、里山保全と地域振興に取り組んでいる。

竹楽を始めた経緯から、20周年記念誌やPR動画の作成、シンポジウムの開催など未来へつなげるための取組、今後の活動に向けた課題などについて説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・竹楽の経済効果について
- ・竹林の管理及び活用状況について
- ・定住者の確保について

◆調査箇所：豊肥振興局

＜概要＞

豊肥振興局における管内の概況と特性、令和3年度の重点項目、組織及び人員、災害対策、特定家畜伝染病防疫対策、地域活性化施策（地域活力づくり総合補助金、アウトドアイベントによる久住地域活性化事業、朝地町魅力発信事業、飲食店を通じた感染防止対策支援事業）、小規模集落対策、食観光魅力発信事業、新型コロナウイルスにおける影響等について説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・花きや農産物の単価及び売上状況について
- ・ユネスコエコパークを活用した取組について
- ・新型コロナ感染症対策に係る支援金周知及び県民の声について

◆調査箇所：天空の展望公園（TAOの丘）（竹田市久住町）

＜概要＞

竹田市が整備した天空の展望公園（TAOの丘）の施設全般について、指定管理者であるTAO文化振興財団から説明を受け、意見交換を行った。

阿蘇くじゅう国立公園の雄大な自然をいかし、世界的に活躍しているDRUM TAOの活動拠点として活用されており、公演を通じて、大草原を見下ろす野外劇場の迫力を肌で感じた調査となった。



＜主な質疑等＞

- ・TAO HOUSEの展示物について
- ・舞台施設の整備について

◆調査箇所：竹田市歴史文化館・由学館（竹田市大字竹田）

<概要>

竹田市歴史文化館・由学館は、旧歴史資料館の跡地に新築リニューアルされ、令和2年10月にオープンした。国史跡「岡城跡」に関するガイダンスセンターや市民ギャラリーの機能を有するとともに、隣接する国史跡「旧竹田荘」とエレベーターで結ぶなど、城下町ならではの交流拠点施設として整備されている。

館長から施設の概要について説明を受け、館内を見学しながら意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・VR等を活用した岡城跡の案内について
- ・エレベーターの利用状況について
- ・情報発信の工夫について

【令和3年5月11日（火）】

◆調査箇所：宇目エコパークセンター うめキャンプ村（佐伯市宇目）

<概要>

道の駅宇目にある宇目エコパークセンターを調査し、佐伯市エコパーク推進室から施設の概要やユネスコエコパーク登録を契機とした地域づくりについて説明を受け、意見交換を行った。

あわせて、うめキャンプ村・そらのほとりの取組を調査し、指定管理者の戸高代表から宇目の大自然をいかした様々な体験活動やキャンプ設備について説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・キャンプ場施設の老朽化について
- ・冬場のキャンプ場の利用促進について
- ・キャンプ場周辺の騒音対策について



◆調査箇所：南部振興局

<概要>

南部振興局における組織及び人員、管内の概況、佐伯市の新型コロナウイルス感染症対策、地域振興施策（地域活力づくり総合補助金、豊かな自然や食材を活かした誘客の促進、新型コロナウイルス感染症対策緊急支援事業による支援）、小規模集落対策（ネットワークコミュニティ推進モデル委託事業、小規模集落等支援事業費補助金、小規模集落応援隊派遣事業）、移住・定住対策、危機管理対策等について説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・地域活力づくり総合補助金の活用状況について
- ・移住者の声や就職状況について
- ・新型コロナ感染症対策に係る影響や県民の声について
- ・食文化や観光に係る広域連携について

◆調査箇所：さいき城山桜ホール（佐伯市大手町）

<概要>

さいき城山桜ホールは、佐伯市の新しい文化・芸術の交流拠点として、令和2年10月にオープンした。計画段階から市民や高校生の提案を取り入れ、食育活動や子育てのためのスペースを設けるなど、市民の思いをかたちにしたホールとなっており、開館5か月で来場者は10万人を突破した。

館長から施設の概要について説明を受け、館内を見学しながら意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・さいき城山桜ホールサポーターについて
- ・施設の利用料金について
- ・周辺の公園利用について

【令和3年5月24日（月）】

◆調査箇所：日出町政策推進課

<概要>

日出町では、将来にわたり持続可能な公共交通網の再編に向けて、デマンド型の公共交通サービスに取り組んでいることから調査を実施した。

コミュニティバス運行時の課題やデマンド型地域交通サービスの実証実験及びその結果で判明した課題、予約システムや本格運行に向けた準備状況などについて説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・個人の負担金について
- ・高齢者の利用促進について
- ・予約システムの運用について
- ・タクシー会社との関係について

◆調査箇所：東部振興局、別府県税事務所

<概要>

東部振興局における組織及び人員、管内の概況、危機管理対策、地域活力づくり総合補助金、コロナ禍における緊急支援対策、地域課題の解決に向けた取組、小規模集落対策、新型コロナウイルス感染症の影響等、別府県税事務所における組織及び人員、令和3年度重点取組事項、令和2年度県税決算見込額、税目別調定額の累年比較・徴収率の推移についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・自動車税納付におけるスマホアプリの利用状況について
- ・地域活力づくり総合補助金の活用状況について
- ・小規模集落対策事業について
- ・新型コロナウイルスの影響の調査方法及び要望事項について

◆調査箇所：国東半島カルチャーツーリズム推進事業国東市実行委員会
島袋道浩アート作品（国東市国東町）

<概要>

国東半島カルチャーツーリズム推進事業国東市実行委員会では、令和2年度に国東市内3か所に現代アート作品を設置し、芸術文化をいかした地域振興や観光誘客の促進を図っている。

調査は荒天のため、旭日地区公民館にて祇園山に設置された島袋道浩氏の作品の解説や世界農業遺産を活用した周遊マップなどの説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ 祇園山の位置付け及び登山ルートについて
- ・ 国東半島芸術祭既設作品とのルートづくり及び駐車場等の整備について
- ・ 観光PRの方法について

【令和3年5月26日（水）】

◆調査箇所：中部振興局、公文書館、大分県税事務所

<概要>

中部振興局における管内の概況、組織、地域活性化施策（新型コロナウイルス感染症対応事業、豪雨災害対応、地域創生事業、移住定住促進等）、小規模集落対策、ユネスコ創造都市ネットワーク加盟に向けた取組、公文書館における沿革・組織、施設・事業の概要等について、大分県税事務所における管内の概況、組織、令和2年度県税決算見込額、税目別調定額・収入未済額・徴収率の推移、特別滞納整理室の処理状況等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・ 大分県農業非常事態宣言を受けた取組について
- ・ ユネスコ創造都市ネットワーク加盟に向けた臼杵市への支援について
- ・ 公文書館の果たす役割について
- ・ 納税通知書の工夫について

◆調査箇所：公立大学法人大分県立芸術文化短期大学（大分市上野丘東）

<概要>

大分県立芸術文化短期大学の沿革、学科構成、機構・職員組織、予算、教育課程、志願者・入学者の状況、卒業生の進路状況、地域との連携、キャンパス整備、新型コロナウイルスへの対応等について説明を受け、意見交換を行った。

引き続き、新しく整備された芸短ギャラリー、工房棟、音楽ホール棟、図書館などの施設の視察を行い、キャンパスの整備状況を調査した。



<主な質疑等>

- ・ 県外出身者の入学割合について
- ・ 学費支払等新型コロナウイルスの影響について
- ・ 就職率について

【令和3年6月1日（火）】

◆調査箇所：犬丸区自治会（中津市大字犬丸）

＜概要＞

犬丸区自治会では、新型コロナの影響で生活に困窮している外国人の方を支援しようと、昨年度、犬丸地域で働くインドネシアやベトナムなどからの外国人技能実習生にエール米を送るとともに、様々な国際交流活動にも取り組んでいる。

事業実施に至った経緯や、マスコミ報道による反響、七夕祭や小学生とのインドネシア料理教室等の交流イベントの取組などについて説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・企業からの支援について
- ・振興局との連携について
- ・今後の交流活動の展望について

◆調査箇所：北部振興局、中津県税事務所

＜概要＞

北部振興局における管内の概況、組織及び人員、危機管理対策、地方創生、移住・定住対策、地域活力づくり総合補助金等を活用した地域・観光振興、小規模集落対策、コロナ禍での地域経済・社会の維持復興に向けた取組等、中津県税事務所における管内の概況、組織、重点事項、令和2年度県税決算見込額、税目別調定額・収入未済額・徴収率の推移等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・豊後高田市の移住対策及び情報共有について
- ・豊後高田市の北部中核工業団地について
- ・新型コロナ感染拡大に伴う個人事業税への影響について
- ・宇佐市の世界かんがい遺産申請の取組について

◆調査箇所：株式会社 Founding Base（豊後高田市新町）

＜概要＞

株式会社 Founding Base は、地域おこし協力隊の制度を活用し、自治体に事業を提案し運営を実行する地方共創の実現に向け、全国各地で活動している。

大分県内では、豊後高田市から委託を受け、玉津まちの駅夢むすび、長崎鼻ビーチリゾートの運営に携わり、県からはふるさとワーキングホリデーの受入先となっており、目的を明確化した活動手法や今後の展望について説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・事業提案と実行の手順について
- ・夢むすびでのマルシェの取組について
- ・長崎鼻ビーチリゾートでのリピーター率について
- ・行政との連携方法について